

第19回 全国学校飼育動物研究大会のご案内

主 催：全国学校飼育動物研究会

日 時：平成29年8月19日（土） 12時30分～16時40分

会 場：東京大学 弥生講堂一条ホール

東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学農学部内 <http://www.a.u-tokyo.ac.jp/yayoi/>

開催趣旨：バーチャルな世界との関わりが身近になりつつある児童生徒には、学校飼育動物の継続的な飼育体験を通して、生命あるものを大切にする心情を育み、生命の尊さを実感することが求められています。児童生徒が責任を持って継続的な飼育をすることは、自分本位の見方や考え方から動物の立場に立った見方や考え方ができるようになることが期待できます。また、継続的な飼育体験は、豊かな言語活動をうながし表現力を育てることにつながります。

本研究大会では、新学習指導要領で求められている生命を大切にする指導を、動物飼育体験を通してどのように展開したら良いかや飼育体験が子どもたちの成長とどうかかわるかなどについて学び、交流したいと考えます。また、モルモットとの触れ合い体験実習にもご参加していただけます。

大会テーマ：新学習指導要領の求める命の教育の実践

（1）シンポジウム：「新学習指導要領の求める命の教育をどう実践するか」

シンポジスト 生活科・渋谷一典 先生（文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官）
道徳科・吉本恒幸 先生（聖徳大学大学院教職研究科 教授）
特別活動・若林 彰 先生（帝京大学教育学部初等教育学科 教授）
獣医師・處 愛美 先生（ところ動物病院 院長・公益社団法人福岡県獣医師会 理事）

（2）口頭発表

- 1）「期限付きモルモット貸出事業を活用した生活科における動物飼育～テキストマイニングを用いた教育効果の検証～」田宮縁（静岡大学教育学部教授）
- 2）「獣医師との連携による継続的なモルモット飼育について」吾郷良子（東京都大田区立赤松小学校教諭）

（3）ポスター発表

- 1）「学校にウサギとチャボがいる～活用の可能性を探って」八木良子（福岡県福岡市立飯倉中央小学校教諭）
- 2）「福井県獣医師会のモルモット飼育モデル校」大門由美子（公社・福井県獣医師会学校飼育動物事業委員長）
- 3）「小学校への羊や犬での触れ合い授業の実践報告～牧場飼育員による出前授業の可能性」今谷伊都香（六甲山牧場飼育員）

（4）動物との触れ合い体験実習 モルモットとの触れ合い体験（公社・群馬県獣医師会）

後 援：（申請予定）文部科学省、東京都教育委員会、全国小学校理科教育研究会、全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会、全国小学校道徳教育研究会
日本獣医師会、日本小動物獣医師会、東京都獣医師会

連絡先：全国学校飼育動物研究会（会長：鳩貝太郎）

Tel：080-8879-0826 Eメール：school-ownedanimals@ab.auone-net.jp

事務局 聖徳大学教職実践センター 吉本研究室 千葉県松戸市岩瀬 550